

令和6年度金沢大学入学者選抜試験

薬学類・高大院接続入試試験問題

小論文

[医薬保健学域薬学類]

(注意)

- 1 問題紙は指示があるまで開いてはいけません。
- 2 問題紙は本文1ページです。答案用紙は1枚です。
- 3 答えはすべて答案用紙の指定のところに記入しなさい。
- 4 問題紙と下書き用紙は持ち帰ってください。

顧みられない熱帯病 (Neglected Tropical Diseases, NTDs) は発展途上国で流行している 20 種類の疾患で、その地域の人々の生活を脅かしています。多くの患者が貧困であるため、新薬の開発に成功したとしても、製薬企業にとって採算の合わない市場と言われていています。しかし、近年、人道的観点などから NTDs の制圧は世界的に重要な課題と認識されるようになり、様々な支援・協力の枠組みが形成され始めています。持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals, SDGs) の目標 3 (すべての人に健康と福祉を) にも、このような病気の根絶が掲げられています。

あなたは、製薬企業に勤める創薬研究の責任者で、今後、開発する医薬品を選択しなければならない立場にあるとします。現在、社内に NTDs の治療に有効性が期待できる化合物 A と、世界中に多くの患者が存在し、製薬企業が将来の医薬品開発を進めるのに必要な高い収益が見込める疾患を対象とした化合物 B があります。社内状況からいずれか一つを開発品として選択しなければなりません。あなたはどちらを選択しますか。その理由とともに 800 字以内で記述ください。

なお、数字やアルファベットも 1 文字とします。あなたがどちらを選択しても、その選択そのものは採点に影響しません。